

平成19年度（2007～2008） 第2回城南支部役員会議 議事録

- 日 時： 2007年11月21日 午後6：30～9：00
- 会 場： 「マ・メゾン」大森駅近く
- 出 席： 竹平城南支部長（東邦）、谷村副部長兼総務委員（オリオン印刷）、
小林副支部長兼次世代委員（複写印刷）、木村副支部長（すばる）、
上中副支部長兼事業担当理事の代理として河口様（広芸インテック）、
原田Web戦略委員の代理として荒木様（グットクロス）、
白山経営革新環境委員（東邦）、支部長の指名依頼として倉沢様（創文社）

●竹平支部長あいさつ

1. 今後の事業計画について

城南支部活動予定表による平成19年度（2007-2008）事業計画について報告あり。
7月31日、第1回城南支部役員会議を開催し、承認された事業計画については下記と
おり実行した。
8月31日、天王洲アイル「第一ホテルシーフォート」にて納涼会を開催した。
9月12日、新宿「モリサワ会議室」にて、windowsビスタ・オンデマンドについて勉
強会を開催した。
11月10日、城南城西合同コンペを開催した。
忘年会は、荒木委員代理（グットクロス）より報告があった。12月12日（水）城南・城
西合同忘年会を白金「八芳園」にて開催。城南支部会員に参加依頼、又、全支部長に招
待状を送る予定、他賛助会員については、城西支部長と相談し決定することとした。竹
平支部長承認が承認した。
1月18日に城南支部ボーリング大会を計画、担当を木村副支部長とした。日程について
は、本部の行事を確認した後決定することにした。
2月と3月に、勉強会を計画。紙事情について、森林認証機関などを講師して依頼するな
どの案件が出た。勉強会の絞り込みを白山経営確認環境委員に調査を依頼、忘年会開催
時に報告ができるよう支部長より指示があった。
4月の支部総会（懇親会・散策・ゴルフコンペ含む）については、小林副支部長が担当
することになった。例年どおり一泊二日とした。

2. 城南支部のホームページについて

城南支部のホームページを支部役員に公開していたが、本会場にパソコンを持ち込み再
度公開した。その結果不備の改訂を待たずにアップする事に決定した。ホームページは
「大田区印刷」「品川区印刷」でトップページに来るようにしたい。又、要望として城
南支部会員のホームページをリンクさせる。情報伝達の手段とする。本部委員会の進捗
状況を報告する場にする。本部に新城南支部のホームページを報告しリンクさせること
などを決定した。改訂については担当を分担し維持していく方法も検討された。

3. 会員の増強について

竹平支部長より退会会員、入会会員の報告があった。退会企業は、経営が大変で集まり
に参加している暇がない、出費に対して見返りが無い等の理由であることから、魅力的
な支部運営を行い、退会会員を食いとめようとする案が出た。
加入している会員の満足度はどうかという問いに対し、積極的な会員はメリットを感じ
ているだろうが、それ以外の会員へは、一方的に情報が流れているだけと思われので、
対策をたてる必要がある。興味を引く事項としては、商売につながる事業を考え、その

前段階として情報収集会や、勉強会を行う。それをスムーズにするために、まずは自己PRの冊子作成（一定期間に持ち回りで作成する）、得意な仕事や、協力してもらいたい仕事を掲載する。それを必要と思われる場所に配布する。例えば、大田区、品川区等の購買や、ガソリンスタンド、商店街の有力な店、文房具屋等が考えられる。

今後の活動として①支部主催のプレゼンテーションのための勉強会、②スピーチ練習の一環として基調講演、③支部が地域に発信するイベント開催、（タウン誌・ケーブルテレビなどを呼ぶ）④会員企業訪問見学などが有効な手段として話題に上った。そのためには、年に数回しかない全会員の集まりを増やさなければならない。⑤引き合いの仕事が、自社の業務に合わないため断るケースがあったが、支部内メーリングリストを使用することで受発注網が支部内に構築できないか等の案がでた。まずは、具体的な目標を立ち上げる事が重要という結論に達した。

又、本部で発生する制作物は毎年担当支部を決めて、その支部内で全てをまかなってどうか、公平に仕事を分配することにより、支部内の交流が深まり、10年に一度仕事が廻ってくる。という案もあった。

4. 勉強会について

勉強会の開催予定は、今後の事業計画の項目決定されたように、2月中旬頃と3月中旬に予定された。従来どおり、話題を決めて講師を呼ぼう（森林認証機関を招く）ということも考えられたが、会員の増強の中で話しあったように、支部内で自社PR発表会なども考えられ、頭書のとおり白山委員に依頼した。

勉強会は、数少ない会員の皆さんが集まる場所なので、支部会の役割を果たすと情報の交換も活発化される。

5. その他

今回の提案、起案などを役員会議で受けとめ消化することが重要、次回は3月中旬に城南支部役員会議開催することとした。

報告書作成
経営革新環境委員 白山 繁

報告書承認
城南支部長 竹平 時彦